

## スキルパフォーマンス 開催要項

### 《趣旨と目的》

日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）の開催方式の変更を行い、競技別の分離開催となり2年目を迎えた。昨年は第90回大会を八戸市で開催し、新たに男子アイスホッケーの2ndディビジョン8チーム、女子3チームを加え43大学チームの参加大会となり日本最大のアイスホッケーイベントとなった。

多くの学生（約1,300名）が参加する大会となり、学生時代の思い出となる大会にするために、新たなイベントを通して選手同士の交流の場を設け、試合とは違う楽しみと思い出の提供を目指す。

### [競技内容]

1. 参加選手：インカレファーストディビジョン（32チーム）、セカンドディビジョン（8チーム）に参加する40チームから総勢48名（プレーヤー40名、GK8名）。
2. チーム編成：トーナメント表をもとに全40チームを4チームに分ける。
  - ① ファーストの1～8及びセカンドの1、2
  - ② ファーストの9～16及びセカンドの3、4
  - ③ ファーストの17～24及びセカンドの5、6
  - ④ ファーストの25～32及びセカンドの7、8※ 全てトーナメント表の番号に基づく。
3. 競技種目：各種目8選手参加。
  - ①ファーストスケート  
フォアスケートでの一周のタイムを競う。
  - ②アジリティースケート  
設置されたパイロンを回るタイムを競う。
  - ③シュートコントロール  
制限時間20秒以内でゴールの四つ角に設置されたネットにシュートを入れるタイムを競う。
  - ④ シュートスピード  
ゴールラインから9メートル地点からのシュートスピードを競う。  
2本行いベストタイムを採用。
  - ⑤ PSS  
昨年度のベスト8のチームからシューター1名、GK1名を選出し、トーナメント方式で対戦する。交互に2本シュートを行い、得点数の多いほうを勝者とする。決着がつかない場合にはサドンデスで1回ずつ交互に行う。先行はプログラム番号の小さな大学から行う。  
なお、PSSルールはIIHFルールに準じて行う。

4. 順位決定方法：①～③までは競技終了までのタイムで順位を定める。  
シュートスピードは速さで順位を決定する。  
PSSはトーナメントで勝ち残ったものを勝者とする。  
各種目1位から8位まで得点が与えられる。  
1位8点 2位7点 3位6点 4位5点 5位4点 6位3点 7位2点 8位1点  
上位3選手の表彰を行う。
5. チームの順位決定方法。  
各競技に参加した選手の得点を加算しチーム得点とし、全ての競技が終了した時点でチームの得点で順位を決定する。  
優勝チームの表彰を行う。
6. 運営方法。  
学連委員が中心となり運営ならびに進行を行う。